

茨城県立歴史館の学習支援事業（出前講座）テーマ一覧〈平成24年度版〉

当館では小・中学校および高等学校を対象にした学習支援事業（出前講座）を実施しています。

講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。ただし、ご希望があれば下表以外の内容も検討いたします。社会科の授業はもちろん、総合的な学習の時間などにおいても、ぜひ積極的にご活用ください。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容
1	土器や石器などが語る 人々の暮らし	旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良・平安の各時代の資料にふれながら、人々のくらしぶりについての話をします。
2	文様と遊ぼう	縄文土器や弥生土器の拓本をとったり、粘土に貝殻や棒、つくった縄目のひもで文様をつけたりします。
3	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉づくりを体験します。 ※材料費として1個300円がかかります
4	佐竹氏と鎌倉幕府の成立	治承四年（1180）、平氏政権の打倒を目指して挙兵した源頼朝。この動きに対して、同じ源氏の一族であった常陸国の佐竹氏は、どのように行動したのでしょうか？『吾妻鏡』をもとに解説します。
5	古河公方と常陸国の動向	東国の戦国時代は、古河公方の成立にはじまります。常陸国の戦国大名佐竹氏や国衆たちの動向が、古河公方の存在に影響されていたことを、史料をたどりながら解説します。
6	水戸藩と江戸幕府	御三家の一つであった水戸藩が幕府の中で担っていた役割、幕府の政治への関わり方などを、寛政の改革を中心に説明します。
7	間宮林蔵とシーボルト —間宮海峡はこうして 名付けられた—	樺太探検により、世界的な地理上の偉業を達成した間宮林蔵。樺太と大陸の間にある海峡が間宮海峡と名付けられるまでの、間宮とシーボルトの関係について考えます。
8	異国船の衝撃 —幕末動乱への序曲—	江戸時代後期、那珂湊や大津港などに異国船が現れるようになると、水戸藩では欧米諸国の圧力に対する危機感が高まり、攘夷思想が進展していきました。幕末動乱の引き金ともなった、これらの事件について分かりやすく解説します。
9	徳川さん、パリへ行く	1867年の徳川昭武のパリ万国博覧会派遣を題材に、当時のヨーロッパの状況をふまえて、幕末から明治初期における異文化との出会いを解説します。
10	古文書から歴史をさぐる	江戸時代の検地帳や人別帳、道中記等を使って古文書を読むおもしろさに触れるとともに、歴史への興味の導入とします。
11	肖像画の魅力 —肖像画の描き方—	江戸時代後期の肖像画の描き方を中心に、肖像画の魅力について解説します。
12	戦争中のくらし	戦時中の生活の様子について、当時の写真や資料を交えながら解説します。
13	木造校舎で学んだころ	下じきが落ちるすき間のあいた床、石炭ストーブなど、昭和40年代、どこでもみられた学校の様子を紹介します。
14	ちょっと昔のくらし	昭和30年代ごろまでの生活の様子を、その当時使われていた道具をもとに解説・説明します。 ※来館が条件です。今年度は時期により展示室でも実施します。
15	茨城県のあゆみ	県庁のむかしの文書（書類）を使って、茨城県のあゆみを分かりやすく紹介します。
16	石の神様・仏様 —学校のまわりの古いもの—	人々のくらしの中で信仰されてきた石神や石仏など、学校のまわりに残っている古いものを中心に分かりやすく解説します。

17	地形図から水戸の移り かわりをさぐる	新旧の水戸の地形図を使って、地図を読むおもしろさに触れるとともに、水戸の町の変化・発展の様子を調べます。
18	落款（ハンコ）づくり体験	古文書や書画などに使われてきた落款や印章について分かりやすく解説します。また消しゴムを使って簡単な印づくりを体験します。
19	県内の祭り・年中行事 （行事の由来と内容）	県内で行われている四季ごとの祭りや特色ある祭りを紹介するとともに、自分たちの身近な地域とその周辺で行われる祭り、それぞれの祭りのむかしと今などを紹介します。

【活用の方法について】

①お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課まで電話もしくはメールにてご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

※申し込みから実施まではおおよそ1カ月はみていただきたいと思います。できるだけお早めにお申し込みください。

②経費 無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

本資料の詳細についてのお問い合わせ、お申し込みは・・・・・・・・

茨城県立歴史館管理部教育普及課 「出前講座担当」まで

電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp